

ひょうご 農業委員会女性ネットワーク だより

編集：ひょうご農業委員会女性ネットワーク

発行：一般社団法人兵庫県農業会議

ひょうご農業委員会 女性ネットワーク 令和2年度の活動概要

(1) 県内交流研修会（9月・2月）

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年9月頃と2月頃に開催している「女性委員交流研修会」を開催中止としました。

また皆様で交流や意見交換できる日まで、体調にお気をつけていただきませうようお願いいたします。

(2) 県外研修会・会議

全国農業委員会女性協議会等による左記研修会・会議につきまして、新型コロナウイルスの感染拡大も防止のため、ウェブ開催及び一部中止となりました。

▽女性農業委員登用促進研修会【中止】

▽2月12日 全国農業委員会女性協議会総会【ウェブ開催】（事務局出席）

▽3月11日 女性の農業委員会活動推進シンポジウム【YouTubeライブ配信】

▽東海・近畿ブロック女性農業委員会研修会【中止】

女性農業委員・ 推進委員数の状況

令和3年2月1日時点での県内女性農業委員・農地利用最適化推進委員数は、前年の調査（令和2年2月28日）から2人増えて、59人となりました。

女性農業委員・推進委員が在任する農業委員会数は33委員会（全体の82.5%）で、前年より1委員会増。2人以上の女性委員が在任する農業委員会は16委員会（同40%）となり、前年同数となりました。

引き続き、女性委員の登用促進を働きかけるとともに、在任中の女性委員は委員の継続もしくは後任を探していただくようお願いいたします。

男女の境なく、様々な視点による農業委員会活動の実現を目指し、これからも女性委員の登用促進にご協力ください。

ひょうご農業委員会 女性ネットワークの 新役員について

ひょうご農業委員会ネットワークの役員の任期満了による役員改選につきまして、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で

「女性委員交流研修会」の開催が中止となったため、書面決議とさせていただきます。

書面決議の結果、会員総数59人のうち、承認54票で現役員の会長・大西富美子さん（丹波篠山市）、副会長・坂田順子さん（加古川市）、高尾利美さん（豊岡市）が引き続き役員に就いていただくことになりました。

また、令和3年度の活動計画につきましても、承認54票により承認されました。

ひょうご農業委員会 女性ネットワークについて

ひょうご農業委員会女性ネットワーク（旧ひょうご女性農業委員ネットワーク・平成19年3月発足）は、県内女性農業委員・農地利用最適化推進委員の連携組織として、相互研さん及び情報交換、男女共同参画の推進等を目的に活動しています。

役員は会長・大西富美子（丹波篠山市農業委員会）、副会長・高尾利美（豊岡市農業委員会）、同・坂田順子（加古川市農業委員会）。

〈事務局〉
〒六五〇〇〇一一
神戸市中央区下山手通四丁目一五ノ三
兵庫県農業共済会館3階
一般社団法人兵庫県農業会議
電話〇七八・三九一・一二二一一

寄稿

農業委員として思うこと・考えること

宝塚市農業委員会

中西 恵子



今までは女性農業者としての活動の中で農業に関わってきましたが、今度は農業委員として行政の立場から地域の農業を見ておられます。身近な地域の方々や農業に目を向けると、昨年、今年とコロナ禍の中、買い物難民になられているお年寄りの方々はどうにかして、農作物や花などを届けられるか、直売所に来ていただいで買物をしてもらうことはできないかと思われました。今後、福祉と農業をつなげられるように動いていきたいと考えます。

宝塚市農業委員会

中西 瞳



女性農業委員となり1年目。私に務まるのか不安でしたが、夫や地域の方々のサポートもあり、多くのことを学ばせていただいています。

コロナ禍で現地調査や定例総会など、思うように活動できない状況にあります。その中でも新規就農を目指す若い方や地域農業の未来を考える若手農家の皆さんのお話を聞いていると活力をもらえます。私も地域農業を支える一人として微力ではありますが、努力していきます。

川西市農業委員会

今西 フサエ



新型コロナウイルス感染症の影響により、委員会業務においても感染防止のため、定例会では委員を減じ、また、地域農業との関わりも少ない現状になっています。

しかし、コロナ禍だからこそ今後に活かす問題解決の緒を見出すきっかけにもなると期待もしています。

農業においては、昨年の長雨により

ウシカが発生する等の被害もありました。天災やウイルスに戦う労力が益々必要で、農業活性化のため、今後とも精進していきたいと思えます。

三田市農業委員会

平松 久恵



今年度から農業委員を拝命している一年生です。

あしたの風が吹く。『田園都市』三田は人口増加率日本一の阪神間のベッドタウンでありましたが、農村部は取り残されている感じが否めません。

他市町同様、農村部の衰退が懸念され、相続が起きる度に農地が減り、また、集落は地域力が弱くなつてきております。我が家も後継者がいない中、地域の農業をどう進め、守っていくのかという課題を先輩方に学びながら、力を尽くしていきたいと考えております。

明石市農業委員会

左海 みや子



私が担当している地域の多くは市街化農地です。ほとんどの兼業農家

で耕作面積も少なく、住宅街に点在しております。農地パトロールなど現場活動する際、農地をフェンスで囲って近くまで行けないときは苦戦しています。時には近隣の方から「何をされているのですか」と聞かれることもあります。

一方、農地の貸借等の相談はありませんが、コロナウイルスに注意して農地パトロールを続けていきたいと思えます。

加古川市農業委員会

坂田 順子



コロナ、コロナと言われて一年余りが経過しました。その間、いろいろなイベントが中止になるなか、私たちが経営する小さな農産物加工・販売会社の最大のイベントである「野菜の収穫体験」を、コロナ対策をしながら昨年11月29日に開催しました。久しぶりのイベントに、みんなの楽しそうな笑顔が見られ、元気をもらった一日でした。そして、まだまだコロナが終息していませんが、暗い気持ちにならずに、みんなが笑顔で暮らせる毎日が戻ってくるように頑張ります。

稲美町農業委員会

大西純子



コロナ禍で世界中が右往左往している中、いつものように畑仕事ができることに感謝しております。しかし、温暖化が進んでいること肌で感じています。夏の水不足、雨が降れば大雨で野菜作りも大変です。

今、自分ができることは、フードロスを無くすこと、ゴミを減らすことです。生ゴミはコンポストに、余った野菜は干したり、常備菜に加工しています。意外に売れたりもしています。曲がった二級品の野菜にも命があると考えています。

小野市農業委員会

藤尾淳子



早いもので私から6年になります。農業委員を始めてから6年になります。

その間、「果たして自分は地元のために何ができたのかな？」と反省もしながら日々を過ごしています。

さて、昨年よりコロナ禍により私たちの生活も変化せざるを得なくなっ

ています。農業者である自分たちには影響ないと思っていました。ネット十つと押し寄せてきています。ネット十つなかりが今後のキーワードになるのかなと考えています。

長年、町おこしに取り組んできた中で、もっと加工

加西市農業委員会

水田加代子



特産品があれば地域おこしの「助っ人」になるのにと

いつつ、どうして実現できないのかと不思議でした。在任中、その「方法・手段・きっかけ」を掴めればと念じていましたが、任期満了まで三か月余りとなりました。

力&能力はありませんが、他市町の女性委員様方の活躍を拝見し、農業と地域おこしを繋げる工夫を考えていきたいと思

加西市農業委員

竹内百合子



農業委員になって三年目、まだまだ勉強不足で皆さんのお役に立てて

るのか分かりませんが、農業委員を通

じていろいろな会や集まりに参加できるのはメリットになっています。

コロナ禍で以前のように出荷ができないとか、その都度に合わせて対応している、今までどうやってきたかを忘れてしまうほど、とにかく今に一生懸命だという声を聞きます。私も何かお役に立てるよう情報発信をできればと思います。

多可町農業委員

畑中淳子
宮崎八千代
遠藤輝美



田舎の農業者は都市部の方に比べると3密も避けられ、暮らしやすいかとは思いますが、不

安いっばいの日々は一緒です。罹患すれば作業の代替員もなく、作物への風評被害も懸念され、収入も無くなります。秋、無事に米の出荷を終えた時の安堵と感謝は例年以上でした。

コロナにより生活は一変しました。当会で、他地域の皆様に出会い、パワーをいただける機会が無くなったことは大変残念でしたが、是非また、集える

日が来ることを願い、元気で過ごしたいものです。

福崎町農業委員会

松岡隆子



昨年より女性農業委員になり、半年が過ぎました。毎月の委員会後に

農地法や農地利用の最適化の勉強会をしています。農業は人間が生きていくのに欠かせない食べ物等を生産する大切な仕事だと思えます。暑さ、寒さを乗り越え、農業をする親の後ろ姿を見て育った私は、農業は子育てや健康づくりに役立つと考えます。コロナ禍の中でも、安定した収入のある農業を推進し、女性や若い人が活躍する街づくりを目標に活動していきたいです。

赤穂市農業委員会

松田静



2月2日、コロナ禍による緊急事態宣言でオンライン開催となった女性農業者の確保育成活動発表交流会に参加しました。Zoomを使用したオンライン会議は初めてでした。

参加後の感想は、すべての会議を

ンラインでは思いませんが、これもありだなと感じました。会場への移動がなく、忙しい仕事の中でも参加しやすく、発言者や資料を画面で見ることができのいいです。課題もありますが、「新しい生活様式」だと感じました。

たつの市農業委員会

岩田 きん子

毎年恒例の忘年会、除夜の鐘つき、本堂でお経を唱え新年会、赤穂の大



石神社への初詣でおみくじを引いて1年のスタート。今年は孫の大学受験のため、3密を避けてすべて中止。三か月我慢の生活です。新型コロナが一日も早く収束することを願っています。推進委員から農業委員になり、女性の立場でできることを精一杯頑張りたいと思います。

「豊岡うまいもんかるた」の制作に取りかかりました。手軽に何度でも利用でき、食育(農)活動に活用してもらいたいと考えたからです。三月頃の完成予定で市内の学校園に届けます。コロナ禍であり、食育活動にも制限がありますが、可能な方法で実践できればと思います。

豊岡市農業委員会

高尾 利美

令和元年度、女性農業委員が中心となり、豊岡市の



伝統農産物や伝統食の魅力を広げたいという重いから

早く女性ネットワークの皆様とお会いできる日が来るといいですね。

新温泉町農業委員会

松元 けい子

新年になりました



でも緊急事態宣言が出されるなど厳しい状況が続いています。

しかし地域の中で地域の人が活動する農業を進めなくてはいけないと思います。新温泉町では、温泉天国室が設置され、温泉活用による地域の活性化が進められています。農業分野においても新温泉農業改良普及センターの指導のもと、町役場と連携しながら若い農業者が育つ、温泉活用の新しい農業を目指していきたいものだと思います。



丹波篠山市農業委員会
大西 富美子

ひょうご農業委員会女性ネットワーク会長として、コロナ禍の中で

議が持てず、役員がそのまま引き継いでいます。意見交換が持てず大変残念に思っています。我が丹波篠山市でも、今年は改選の年ですが、女性の登用が非常に少なく、なかなか難しい問題です。これからもっと、声を出していかねばなりません。

また、農業は高齢化が進んでいます。私はやはり、都市の方と交流をして力を貸していただくことが大切だと思います。黒大豆作りをしたい人はたくさんいます。大変な仕事ですが、楽しいこともいっぱいあります。これからも頑張っていきたいと思います。

丹波篠山市農業委員会

湊 友加



私は農業委員二期目を終えようとしています。ひょうご農業委員会女性ネットワークの研修会等に参加させて

いただき、各地域での取り組みや委

員会活動等について、多くのことを学ぶことができたこと感謝しております。今、担い手不足の中、若い女性の方が農業をしたい、農業者の方と繋がりが多くを学びたいと思われる方と出会うことができました。この出会いを大切に、若い女性農業者を育てていけるよう、活動していきたいと思

南あわじ市農業委員会

榎本 小代子



私は非農家で、農業委員になっていろいろなことを学びました。

その中で一つご紹介したいことがあります。隣の若嫁さんが友人を誘って農業女子を発足させました。人数は15人です。珍しい野菜など栽培、収穫し、東京や大阪、神戸でマルシェを開き、消費者と農業女子が繋がること、またPRも兼ねて活動しています。西村康稔議員も興味を持ち、南あわじ市見学に来られたり、東京に行った際は来てくださりました。彼女たちの活動を私も応援しています。

